

に、市は「大規模な開発等の場合は、事業の進捗に応じた対応が必要と認識。市道の整備状況と併せて確認いただける機会を設けた」と答えました。

このほか「令和3年度予算の内容と、4年度以降の予定」について、市は「3年度は用地購入費と詳細設計、実地調査等の費用を計上。今後は、4年度に道路造成工事、5年度に道路構造物や舗装工事の費用が発生する見込み」と説明しました。

（建設常任委付託分）
城陽市議会会議規則の一部改正 可決
 本会議や委員会への

欠席事由を明文化し、出産の産前・産後期間や育児、介護にも配慮した規定を整備するなど改正を行うもの。
 （委員会付託省略）

令和3年度城陽市一般会計補正予算（第2号） 可決

歳入歳出にそれぞれ3億1007万9000円を追加し、補正後の予算総額を323億2380万9000円とするもの。

主な歳出として新型コロナウイルスワクチン接種や子育て世帯生活支援特別給付金の支給、学校給食に係る経費等を、また市長選挙および衆議院議員総選

表 彰

 6月17日の本会議では、次の議員がそれぞれ全国市議会議長会の表彰を受けたことを報告しました。

議員15年以上表彰
 相原佳代子 議員
議員10年以上表彰
 土居 一豊 議員

挙に係る経費等も計上しています。
 議員は、令和3年度2学期から給食費が、1食につき20円値上げされる影響を問いましたが、市は「3年度は料金改定以降、126回の実施で1人当たり2520円の増。1年間193回の実施とすれば、3860円の増となる」と答えました。

また今回の選挙から商業施設に期日前投票所が増設されることを巡り、議員は、二重投票やなりすましの防止、有権者名簿の確認等への対応を尋ねましたが、市は「入場券をバーコードリーダー等で読み取って、有線回線で登録された選挙人名簿の個人情報と突合し、投票済みとするシステムにより、二重投票の防止は可能」と説明しました。

令和3年度城陽市一般会計補正予算（第3号） 可決

歳入歳出にそれぞれ7940万円を追加し、補正後の予算総額を324億320万9000円とするもの。

歳出として新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給に係る経費を計上しています。
 （委員会付託省略）

費値上げは市民負担が大きいため避けるべき」と述べました。
 （委員会付託省略）

令和3年度城陽市一般会計補正予算（第3号） 可決

歳入歳出にそれぞれ7940万円を追加し、補正後の予算総額を324億320万9000円とするもの。

歳出として新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給に係る経費を計上しています。
 （委員会付託省略）

請 願 審 議

屋外工含む、すべての建設アスベスト被害者救済のため、国と建材企業の拠出による補償基金制度創設を求め、意見書の提出を求める請願 不採択

全京都建築労働組合 洛南支部長 西村涼一さんから提出
 紹介議員は▽アスベスト（石綿）の飛散による被害者および遺族に対する補償は十分ではない▽国と建材企業の責任を認め、令和3年5月の最高裁判決では、屋内・屋外工で線引きがなされている。被害者が全て等しく救済されるよう双方拠出の補償基金制度が必要」と意見書の提出を求める理由を説明しまし

た。
 委員は、紹介議員に対し「今後期待することとは」と問いましたが、紹介議員は「建材企業は、基金創設に消極的意見書の提出で一石を投じたい」と回答。

続いて、市に対し委員は「給付金法が成立したが、市の対応は」と問いましたが、市は「直接的にも間接的にもない。今後、必要なものがあれば対応したい」と答えました。

討論において、反対の立場の委員は「補償する以上、一定の要件での線引きは必要」「基本合意して間もない段階で、意見書提出は時期尚早」と述べる一方、賛成の立場の委員は「屋外工が補償されないのは公平性に欠ける」「議会としてすぐに行動を起こすべき」と述べました。
 （建設常任委付託分）

▶建設常任委の現地視察（市道3201号線）6月24日

